

## 令和 6 年度決算の概況

### (1) 総括事項

令和 6 年度においては、「岡山市下水道事業経営計画 2 0 1 6」に基づき、下水道事業の持続的な運営を図りながら、快適で安全なまちづくりに貢献しました。

特に浸水対策については、過去の浸水被害を踏まえ、「岡山市浸水対策の推進に関する条例」に基づき、雨水幹線やポンプ場などのハード整備を進めるとともに、事業者への開発行為等に伴う雨水流出抑制施設設置や、止水板設置などの補助により、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策を進めています。

引き続き、平成 3 0 年 7 月豪雨による浸水被害の大きかった地区への重点的な浸水対策に取り組むとともに、未普及対策や耐震・長寿命化対策などについても効率的、計画的に実施します。

### ア 下水道による汚水処理の状況

事 項	令和6年度	令和5年度	増 減	対前年度比 (%)
処理区域内人口 (人)	486,605	487,834	△ 1,229	99.7%
水洗化戸数 (戸)	170,392	169,077	1,315	100.8%
年間有収水量 (千 m <sup>3</sup> )	52,577	52,262	315	100.6%
普及率 (%) ※1	69.3	69.2	0.1	—

※ 1 以外は農業集落排水事業を含む。

### イ 建設改良事業

#### a 浸水対策

浸水被害の軽減を図るため、平成 3 0 年度に着手した浦安排水区の浦安 1 1 号幹線（1 工区）雨水管の整備に取り組み、さらに浦安 1 1 号幹線（2 工区）の整備に着手しました。今保排水区においては、今保ポンプ場及び白石ポンプ場の整備が完了しました。

豪雨に対する初期対応の迅速化を図るため、西大寺地区等のゲートの遠隔操作化に継続的

に取り組みました。

b 未普及対策

笹ヶ瀬右岸幹線及び小山・辛川市場・津高・横井上地区など旭川以西の児島湖流域下水道関連処理区の整備や、牟佐幹線及び桑野・藤崎・国府市場・西大寺浜地区など旭川以東の岡東及び吉井川処理区の整備に取り組みました。

c 耐震化・長寿命化対策

耐震化の取り組みとして、万成ポンプ場、岡東浄化センターなどの耐震診断を実施するとともに、長寿命化対策として、旭西排水センター、岡南ポンプ場の整備が完了し、引き続き平井排水センターなどの整備に取り組みました。

また、老朽化した管きよの更生工事や耐震化の基本計画に基づく重要な幹線管きよの詳細設計、更生工事に取り組みました。

ウ 維持管理

処理場やポンプ場においては、日常の管理の中でコストを意識した運転や、能動的（季節別）管理運転のような下水道の付加価値を高める運転を行うとともに、点検や整備、修繕を計画的に行いました。管きよについても、計画的に点検・調査を行うとともに、清掃や修繕を行いました。

エ その他の取り組み

南海トラフ巨大地震の発生を想定した下水道BCP訓練（10回目）を令和7年1月に実施しました。シナリオ（発災6時間後・3日後等）を設定し、想定されうる事態への対応手順の確認等の説明を交えながらブラインド型訓練を組み合わせることで災害対応能力の向上を図ることができました。今回の訓練では、能登半島地震での災害を教訓とし、下水

道施設の早期復旧のための現地調査等の手順確認を重点的に実施しました。

また、下水道を身近に感じていただくための取り組みとして、下水道の正しい利用を啓発するポスターや市民の方から寄せられる質問に答えるショート動画を作成しました。例年実施している夏休み下水道教室では、キャリア教育（旧インターンシップ）として受け入れている大学生に運営補助を経験してもらい、その活動内容を公式 Instagram で発信するなど市民がより親しめるよう工夫して取り組みました。Instagram のフォロワー数も 575 人へ伸びています。

## オ 財政状況

令和 6 年度の財政状況については、収益的収支では、事業収益 19,331,793 千円に対し、事業費用 19,331,793 千円で、この結果、収支差引 0 円となりました。

資本的収支では、収入額 21,379,956 千円から翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 344,623 千円を除くと、当年度の収入が 21,035,333 千円、これに対する支出額は 28,841,394 千円であり、収支差引 7,806,061 千円の不足額は、内部留保資金などで補てんしました。

以下のグラフは下水道事業の決算状況を示したものです。

